

会員各位

令和3年11月2日

鎌倉市医師会会長 山口 泰  
公衆衛生担当理事 今井 一登

## 世界糖尿病デー及びブルーライト県庁について

神奈川県医師会より通知が参りましたのでお知らせします。

神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課長  
(公印省略)

### 世界糖尿病デー“ブルーライト県庁”の周知について(依頼)

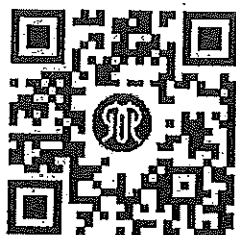
日頃から、神奈川県健康医療行政の推進につきましては、御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

このたび、11月14日の世界糖尿病デーに合わせて神奈川県庁本庁舎において実施します“ブルーライト県庁”の広報物を作成しましたので、送付いたします。

なお、県ホームページでも広報しておりますので、併せて御利用ください。

(ホームページアドレス)

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/f533784/p1086540.html>



問合せ先

健康づくりグループ 堀内

電話 045-210-1111 内線 4782

ファクシミリ 045-210-8857



# 第57回全国糖尿病週間 2021年11月8日(月)~11月14日(日)

共催/日本糖尿病学会、日本糖尿病協会 後援/厚生労働省、日本医師会、日本歯科医師会、日本糖尿病対策推進会議、日本糖尿病財団、NHK



偏見にNo!  
糖尿病をもつ人は、  
あなたと同じ社会で活躍できる人です。

近年、糖尿病の治療は飛躍的に向上し、  
一病息災を実現する人が増えました。

それでもまだ、  
糖尿病への誤解や偏見のために、  
就学や就職、結婚、マイホームの夢を絶たれる人がいます。

一緒に考えてみませんか? 糖尿病のこと。

画像はイメージです。

## 糖尿病には、あなたの正しい理解が必要です。

## 11月14日 世界糖尿病デー

主催：世界糖尿病デー実行委員会（日本糖尿病学会、日本糖尿病協会）  
後援：厚生労働省、スポーツ庁、日本医師会、日本歯科医師会、日本糖尿病対策推進会議、健康保険組合連合会、国民健康保険中央会、日本腎臓学会、日本眼科医会、日本看護協会、日本病態栄養学会、健康・体力づくり事業財団、日本健康運動指導士会、日本糖尿病教育・看護学会、日本総合健診医学会、日本糖尿病財団、日本糖尿病療養指導士認定機構、鈴木万平糖尿病財団、日本内科学会、日本内分泌学会、日本小児科学会、日本眼科学会、日本臨床内科学会、日本肥満学会、日本循環器学会、日本消化器学会、日本高血圧学会、日本糖尿病眼学会、日本糖尿病合併症学会、日本糖尿病・妊娠学会、日本臨床検査医学会、日本糖尿病理学療法学会、日本くすりと糖尿病学会、日本老年医学会、日本サルコペニア・フレイル学会、東京都、東京都医師会、東京都糖尿病対策推進会議、日本栄養士会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本臨床衛生検査技師会、健康日本21推進全国連絡協議会、日本健康会議、読売新聞社、朝日新聞社

特別協賛： 大正製薬 大日本住友製薬 Glico Lilly

協賛企業：第一三共株式会社、サノフィ株式会社、アステラス製薬株式会社、MSD株式会社、株式会社三和化学研究所、田辺三菱製薬株式会社、LifeScan Japan株式会社、ノボルディスクファーマ株式会社、興和株式会社、帝人ファーマ株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、アークレイ株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、テルモ株式会社、味の素株式会社、アボットジャパン合同会社、アストラゼネカ株式会社、株式会社コムラ、サラヤ株式会社、サンスター株式会社、株式会社スズケン、積水メディカル株式会社、ティーバック株式会社、株式会社ニチレイフーズ、ニプロ株式会社、日本生命保険相互会社、日本メトロニック株式会社、PHC株式会社、松谷化学工業株式会社、株式会社おいしい健康、協和キリン株式会社



ウォーターフロント(メリケンパーク) 兵庫県神戸市

詳細は公式HPをご覧ください  
「世界糖尿病デー」ホームページ  
<http://www.wddj.jp>



## 世界糖尿病デー（11月14日）の由来

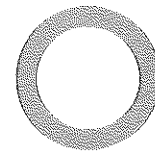
1921年に、糖尿病治療に必要なインスリンを発見したフレデリック・バンティング博士（カナダ/1891-1941）の誕生日にちなんで制定されました。2021年は、インスリン発見100周年にあたります。

2006年12月20日、国連総会において糖尿病の脅威に関する決議が採択され、(UN Resolution 61/225/United Nation) 世界糖尿病デーは、公式な国連デーとなりました。

## ブルーサークル

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられます。これは、糖尿病に関する国連決議が採択された翌年2007年から使われるシンボルマークです。

国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、「Unite for Diabetes」（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。



world diabetes day

14 November

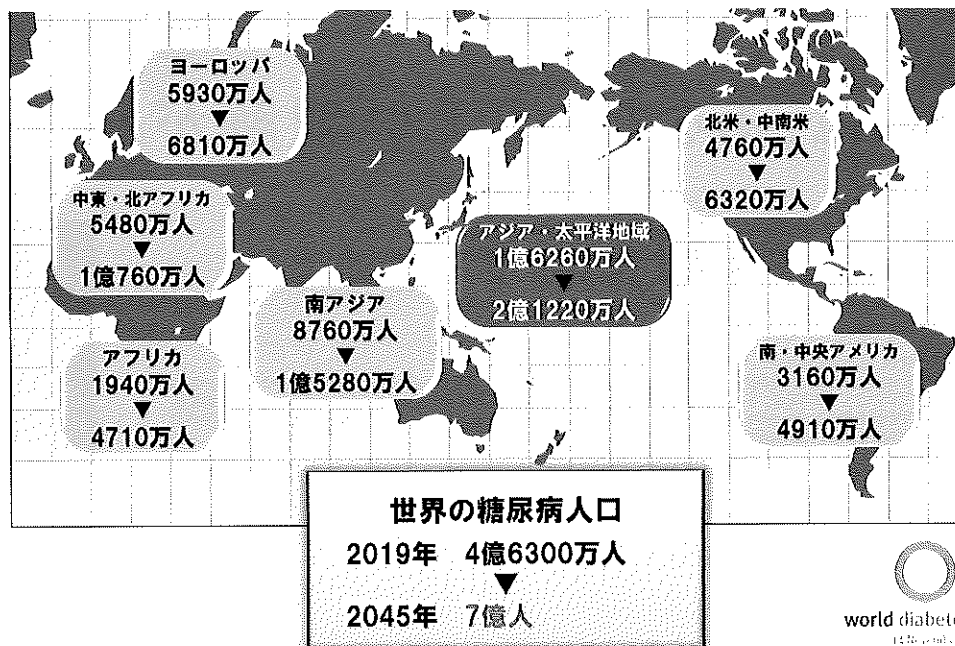
## 世界で6秒に1人の命を奪う糖尿病

- 2019年 世界の成人（20-79歳）糖尿病人口は4億6,300万人。  
2045年には約7億人に増加と予測。そのうち、50.1%は診断されていない状況です。糖尿病の診断の遅れは合併症発症リスクを高めます。
- 世界の20歳以下の1型糖尿病患者数は、110万人となっています。
- 世界の糖尿病人口の4分の3（3億5,200万人）は、20-64歳の就労世代が占めています。
- 世界の65歳以上の高齢世代では、5人に1人が糖尿病をもっています。
- 2019年 世界の糖尿病治療と合併症管理にかかる医療費は世界の総医療費の10%を占める7,600億USD（約83兆円）となり、世界経済を圧迫する要因になります。

出典：IDF Diabetes Atlas 9th edition 2019

## 世界の糖尿病人口（2019年/2045年）

出典：IDF Diabetes Atlas 9th Edition 2019



world diabetes day  
14 November



神奈川県

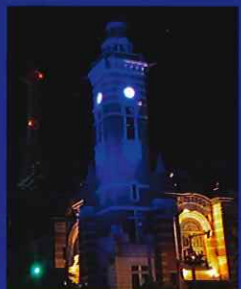
KANAGAWA

# 県庁ブルーライトアップ

世界  
糖尿病  
デー

2021.11.13 SAT → 11.14 SUN

県内の自治体を実施するブルーライトアップ



横浜市開港記念会館



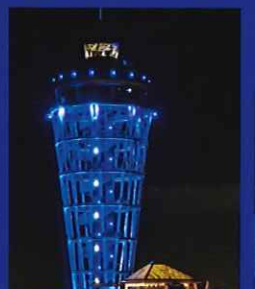
横浜マリントワー



(公財)横浜市スポーツ協会  
日産スタジアム



小田原城



江の島シーキャンドル

共催：神奈川県・神奈川県糖尿病対策推進会議

# 世界糖尿病デー [11月14日] “ブルーライト県庁”

11月14日「世界糖尿病デー」のシンボルであるブルーサークルにちなんで、キングの塔を青くライトアップします。

## 概要

日時：2021.11.13(土)～11.14(日) 17:00～21:00

会場：神奈川県庁本庁舎 〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1



県内の自治体を実施するブルーライトアップ	施設名	ライトアップ日時	主催自治体
	横浜市開港記念会館	11月12日(金)～11月14日(日) 18:00～20:00	横浜市
横浜マリンタワー	11月12日(金)～11月14日(日) 17:00～21:00		
日産スタジアム	11月12日(金)～11月14日(日) 17:00～20:00	藤沢市	
江の島シーキャンドル	11月 8日(月)～11月14日(日) 日没～22:00		
小田原城	11月13日(土)～11月15日(月) 19:30～20:30	小田原市	

※ライトアップの時間は状況により変更になることがあります。

## 世界糖尿病デーについて

世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF(国際糖尿病連合)とWHO(世界保健機関)が制定し、2006年に国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日でもあります。



world diabetes day  
14 November

世界糖尿病デーのキャンペーンに用いられる、青い丸をモチーフにしたシンボルマーク「ブルーサークル」は、国連のイメージカラーであり、どこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインしたもので、キャッチフレーズは“Unite for Diabetes”(糖尿病との闘いのため団結せよ)です。  
(参考：世界糖尿病デー実行委員会ホームページ)

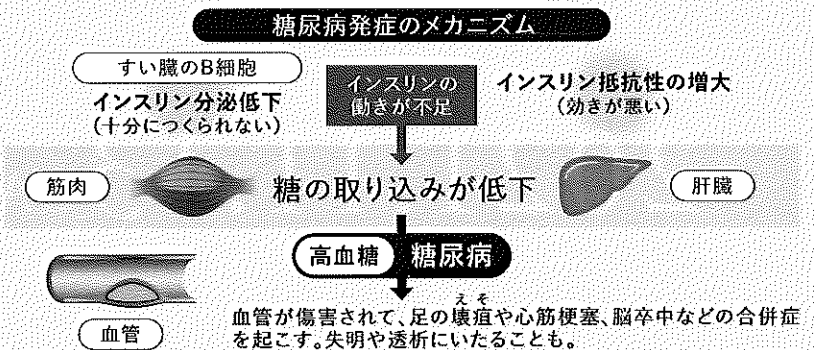
## 糖尿病ってどんな病気？

食事をして血糖値が高まると、すい臓から出るインスリンが、肝臓や筋肉などの身体の組織がブドウ糖を取り込むのを促し、血糖値をちょうどよい値にコントロールします。

しかし、何らかの原因により、インスリンが十分につくられない、あるいはインスリンの効きが悪いことで、ブドウ糖が肝臓や筋肉などに取り込まれず、血糖値が高いままになってしまうのが糖尿病です。放置すると、細い血管が傷み、失明や足の壊疽(えそ)、腎不全など全身に様々な影響が出てきます。

## 糖尿病の原因

糖尿病は大きく分けて、1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病、その他に分類されます。糖尿病患者の多くは2型糖尿病で、生活習慣が大きく影響します。



## コロナ禍の今こそ、生活習慣の見直しを！

不適切な食生活や運動不足などの不健康な生活習慣は、糖尿病、高血圧症、肥満症、脂質異常症などを招くリスクがあります。糖尿病は、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクを高める基礎疾患の1つと言われています。

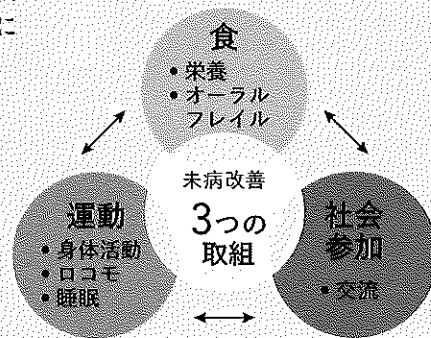
誰もがいくつになっても元気にいきいき暮らしていけるよう、神奈川県では、食・運動・社会参加の3つの取組を柱に、日ごろから心身をより健康な状態にしていく「未病改善の取組」を推進しています。

## 未病とは？

人の健康状態は、ここまでは健康、ここからは病気と明確に区別できるわけではなく、健康と病気の間で連続的に変化しており、その状態を未病といいます。



← 未病の改善



未病改善ヒーロー  
ミビョーマン

問合せ

神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課 045-210-4784

詳しくは▶

